

報道発表

令和4年2月21日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和4年1月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年1月分について、輸出は「船舶類」などが増加したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが減少したことから対前年同月比16.2%の減少となった。また、輸入は「粗鉱物」などが減少したものの、「鉄鋼」、「とうもろこし」などが増加したことから、同4.6%の増加となった。

その結果、差引額は565億円（同34.9%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,379億円	▲16.2%	814億円	+4.6%	565億円	▲34.9%
	3ヵ月ぶりの減少		3ヵ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)船舶類	28億円	+10.7%	輸入	増加品目	(1)鉄鋼	30億円	+35.9%
		(2)プラスチック	5億円	+54.1%			(2)とうもろこし	7億円	13倍
		(3)荷役機械	6億円	+12.9%			(3)有機化合物	8億円	+286.4%
	減少品目	(1)自動車	1,300億円	▲15.6%		減少品目	(1)粗鉱物	1億円	▲83.8%
		(2)鉄鋼	4億円	▲75.2%			(2)魚介類及び同調製品	2億円	▲47.7%
		(3)石油製品	5億円	▲55.8%			(3)自動車の部分品	1億円	▲56.2%
地域別動向		北米、アジアが減少、中南米は増加				地域別動向	北米、アジアが増加、中南米は減少		

（参考）ドルレートは、114.82円（前年同月比10.9%、11.25円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。